

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度	科目名	コンサートプロダクト3	
科目基礎情報					
開設学科	コンサート・イベント科	コース名	コンサート舞台コース	開設期	前期
対象年次	2年次	科目区分	必修	時間数	270時間
単位数	9単位			授業形態	実習
教科書/教材	Vector Works 2019 Student edition microsoft office (特にExcel) google driveなど				
担当教員情報					
担当教員	山下顕治	実務経験の有無・職種	無		
学習目的					
<p>1年次で進めてきた実習内容のクリエイティビティの向上、それらを形にするための作業の精度を高めることとスピードアップを図ることを目的とします。学内実習では許容されていた時間配分、作業速度、完成度を反復練習をすることで、それぞれのスキルアップを図ります。また他セクションとのコミュニケーションを円滑にするために、ミーティングや作業を通じて、必要なスキルを様々なツールの操作技術をあげていきます。図面、タイムテーブル、進行表、道具帳、部材リスト、作業行程表、などへの、コンサートのプランニングやデザイン、アーティストの意向を正確に落とし込むことで、作業の効率化を図り、それを有効利用することで、コミュニケーション能力とチームワーク、更には人間力の向上を目的とします。</p>					
到達目標					
<p>新入生歓迎ライブ、サマーライブと、観客の層をより広げたものを意識したコンサートの成功を目指します。本番のクオリティだけではなく、アイデアを出し合うブレインストーミング、デザインや演出内容の判断基準、美術セットなどの製作課程の精度とスピード、特殊効果や映像などの新しい演出アイテムの導入の仕方と、実際のプログラムやオペレーション等、初の校外実習となるサマーライブにおいて、学内でのルールではなく、学外のルールに適用する技術とスピード、学内の観客だけではなく一般の観客にも伝わる完成度を目指します。その成功の為に必要な責任感、成功から得られる達成感を就職活動においていかに発揮することで、個人の目標である就職を勝ち取ることを目標とします。</p>					
教育方法等					
授業概要	更に多様なコンサートやイベントの回数を増やします。その準備段階と本番を重ねていくことで、作業要領を良くしていくとともに、時々刻々と起こる種々の変更への対応力を養います。コンサートの舞台監督に必要な内容（舞台図面、タイムテーブル、進行表の作成など）と共に、美術セット作成に必要な道具帳の作成とその製作工程に必要な必要な様々なスキル、本番の演出や進行に必要な様々な手法やツール（特殊効果、電飾、映像、プロンプターなど）も、必要に応じて取り入れていきます。				
注意点	仕込、リハーサル、本番に向けて、それぞれの局面における更新、変更事項に対する資料の修正、改善などをしていくのは、必須となります。その際のフォーマットのクオリティ、それらを各セクションで共有する手段と伝達方法は、作成するコンサートによって最善の方法が違ってきます。またデザインアイデアなどは、様々なコンサートを参考にできるように、平日頃の自主学習（アイデアの収集）は欠かせません。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することが出来ない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	30%	グレード実技試験（グループ）グループでの作業手順の習得度とチームワーク貢献度を確認します		
	小テスト	30%	グレード筆記試験を実施。手段や手法、必要資料の作成を通じての習得度を確認します		
	レポート	10%	実施したコンサートを振り返り、その製作過程と結果から得たもの、感じたものが内容となります		
	成果発表（口頭・実技）	10%	提示したアイデアや実作業におけるリーダーシップの発揮などは積極的な加点評価となります		
平常点	20%	出席点を評価します。スキルがあっても、欠席や遅刻があっても自分の実力は発揮できません			
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	新入生歓迎ライブ準備①	1年次の復習をもとに、デザインアイデア、タイムテーブル、進行表、図面の作成			
2回	新入生歓迎ライブ準備②	デザインアイデアの仮組 作業状態の確認、ステージセットデザインの決定			
3回	新入生歓迎ライブ準備③	タイムテーブル、進行表、図面を仮組を元に修正、決定したステージセットに必要なアイテムを製作			
4回	新入生歓迎ライブ準備④	テクニカルリハーサル 照明、音響とともに仕込、出演者なしのリハーサルで技術的な問題点を確認			
5回	新入生歓迎ライブ準備⑤	リハーサル 照明、音響とともに仕込、出演者ありでのリハーサル。本番の成功に向けた修正			
6回	新入生歓迎ライブ本番	片柳アリーナにて実施されるミュージックカレッジ新入生歓迎ライブの本番の仕込、本番、撤収			
7回	サマーライブ立ち上げ①	サマーライブスタッフ決定 演出に映像を組み込むための映像レクチャー			
8回	サマーライブ立ち上げ②	デザインアイデア、タイムテーブル、進行表、図面の作成、会場となるライブハウスの資料習熟			
9回	特殊効果スペシャル	演出に特殊効果を組み込むための特殊効果のデモンストレーションと仕込			
10回	サマーライブ1, 2準備①	デザインアイデア、タイムテーブル、進行表、図面のブラッシュアップ			
11回	サマーライブ1, 2準備②	デザインアイデアの仮組 作業状態や作業手順の確認、ステージセットデザインの決定			
12回	サマーライブ1, 2準備③	タイムテーブル、進行表、図面を仮組を元に修正、決定したステージセットに必要なアイテムを製作			
13回	サマーライブ1, 2準備④	照明、音響とともにテクニカルリハーサル、出演者を加えてリハーサルを実施。本番に向けて修正			
14回	サマーライブ1本番	サマーライブ①本番（テクニカル系コース用本番 ON AIR EAST）			
15回	サマーライブ2本番	サマーライブ②本番（プロデュース系コース用本番 マイナビBLITZ赤坂）			